

エディットボックス・ポジションランプシステム EB-P01

取扱説明書

このたびは、弊社製品のエディットボックス・ポジションランプシステムをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

エディットボックス・ポジションランプシステムの特徴

エディットボックス・ポジションランプシステム(以下ポジションランプシステム)は、フィアット500を対象とした製品で、本製品からOBD II(自己診断)ソケットを使い、車両のコンピュータへ疑似的に信号を送りポジションランプを点灯させています。車両のコンピュータのプログラムの書き換え等の改造を行わないのが特徴です。

イグニッションキーをON(MAR)にすると、スピードメーターが一度大きく振れ、ポジションランプシステムが起動したことを知らせます。

修理等でOBD II(自己診断)ソケットを使用するときには、ポジションランプシステムを容易に取り外す事ができます。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ずお守りください。

- 本製品の取り付け、取り外し作業は、車両を平らで安全な場所に停止して、周囲の安全を確認して行ってください。サイドブレーキをしっかり引き、作業中に車両が動かない事を確認してください。
- 本製品を水に濡れる場所に設置しないでください。
- 空調ダクト等の結露が予想される場所には設置しないでください。
- 万一配線が結露しても、配線から水が伝わらないように、コードが下になるように本体を固定してください。
- 本体コネクタおよびケーブルを、濡らしたり、水につけたりしないでください。万一濡らしたり、水につけたりしてしまった場合には、ただちに車両から本体を外して使用を中止してください。そのまま、使用すると車両に重大な支障をもたらすおそれがあります。
- 本体が熱くなったり、変な臭いがしたり、煙が出るなどの異常があった場合には、ただちに車両から本体を外して使用を中止してください。そのまま、使用すると車両に重大な支障をもたらすおそれがあります。
- 本体やケーブルに無理な力をかけないでください。

- 本体は絶対にご自身で分解や、修理をしないでください。
異常な状態になったら、ご購入の販売店または弊社へお問い合わせください。

☛ 「11. サポート」参照

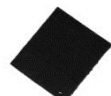
注:本取扱説明書は、右ハンドル車のフィアット500取扱説明書の名称に基づいて説明しています。

1 内容物の確認

- 本体(ケーブル・コネクタ付き) 1
- 両面テープ 1
- 結束バンド 1
- ライトスイッチ表示シール 1
- 保証書兼取扱説明書(本紙) 1



本体(ケーブル・コネクタ付き)



両面テープ



結束バンド



ライトスイッチ表示シール



保証書兼取扱説明書

2 本体の説明

- 本体
- OBD II コネクタ
- 拡張用コネクタ



本体

拡張用コネクタ

OBD II コネクタ

3 機能の説明

- ① ポジションランプの点灯
ヘッドライトスイッチでスモール(ポジション)ランプ、テールランプ、ナンバープレートランプを点灯させる事ができます。
- ② ニードルスイープ機能(スピードメーターオープニングセレモニー)
イグニッションスイッチ(キー)をON(MAR)にすると、スピードメーターが一度大きく振れ元に戻ります。

4 対応車種

- 2008年(平成20年)以降のフィアット500(アパルトを含む)で、車体番号 ZFA31200000742588 以前の車体。車検証の初度登録がおおよそ平成23年中頃までになります。(上記の車体以外の使用は動作保証、故障保証ができません)
- 左ハンドル、並行輸入車等、上記の車体番号がすべて対応できるかは未確認です。その他の車種を含めて、弊社ホームページのフォーラムを参考に使用の可否を判断してください。
- 車両のOBD II(自己診断)ソケットを利用するため、すでにソケットを他製品で使用している場合には本製品を使用する事ができません。

注:すでに他社のポジション点灯キットを装着している車両では動作しない場合があります。

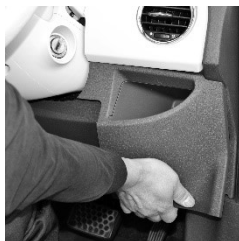
5 やってはいけない事(守らないと本体が壊れる恐れがあります)

- ① 車両のOBD II(自己診断)ソケット以外にOBD IIコネクタを差し込まない。
- ② OBD IIコネクタの接点に電気を流さない。
- ③ OBD IIコネクタの接点にテスターを接触させない。
- ④ 拡張用コネクタの接点に電源(+)アース(-)テスターを接触させない。
- ⑤ 車両電圧をバッテリーの充電等で15V以上にしない。
- ⑥ 故障防止の為、本体からケーブルを外さない。
- ⑦ 本体を濡らしたり、湿気のあるところに置いたり、取り付けたりしない。

6 本体の取り付け方

- ① 車両のランプがすべて点灯するかを確認してください。
フィアット500では、一部のバルブ切れについて、マルチファンクションディスプレイに警告メッセージが表示されます。(詳しくは車両の取扱説明書をご覧ください)
- ② イグニッションスイッチ(キー)がOFF(STOP)になっている事を確認してください。

- ③ ハンドルコラム横にヒューズボックスカバー（小物入れ）がありますので、カバーの下部を引き起し取り外します。



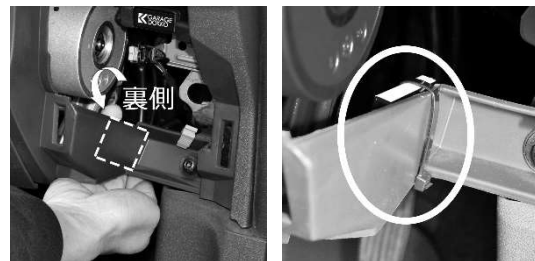
- ④ 内部のOBD II（自己診断）ソケットのキャップを、ロックボタンを押しながら取り外します。（キャップは紛失防止の為に、車体とつながっています）



- ⑤ OBD II コネクタとケーブルの付け根を折り曲げ、先に本体を奥に入れてからOBD II コネクタの向きを確認し、OBD II（自己診断）ソケットに差し込みます。



- ⑥ ケーブルをパワーステアリングモーターなどの部品に干渉しないよう奥に回し、本体を両面テープ、結束バンドを使い、落下やぐらつきの無いよう車体に取り付けてください。余った結束バンドは切断してください。



- ⑦ 拡張用ケーブルは結束バンドで止めてありますが、使用時以外は切り離さないでください。
- ⑧ 本体が正しく取り付けられた事を確認し、ヒューズボックスカバーを元通りに取り付けます。
- ⑨ ヘッドライトスイッチに付属の「ライトスイッチ表示シール」を写真のように貼ってください。（スイッチの○とシールの○の位置を合わせる）



7 使い方

- ポジションランプシステムは、イグニッションスイッチがON (MAR)の時に動作します。ポジションランプシステムが起動すると、スピードメーターの針が大きく振れて元に戻ります。(ニードルスweep機能)

説明文中に用いる語句

- ✓ **ポジションランプの点灯とは**、車外の「スモールランプ」「テールランプ」「ナンバープレートランプ」の3か所と車内メーターパネルの「スモールランプ表示灯」が点灯した状態を指します。(エアコンスイッチパネル、メーターパネルの照明は点灯しません)
- ✓ **ヘッドライトの点灯とは**、標準のヘッドライトスイッチで点灯するすべてのランプが点灯した状態を指します。

- ポジションランプの点灯方法

- ① コラムハンドル左側レバーのヘッドライトスイッチを「OFF—ON—OFF」する操作を4秒以内に行います。ヘッドライトが点灯して**PL (ポジションランプ) モード**が設定され、ヘッドライトが消えポジションランプが点灯します。

アドバイス ☞ 「OFF—ON—OFF」の操作が早すぎるとPLモードにならない事があります。

- ② PLモード設定中はヘッドライトスイッチの「ON—OFF (OFF—ON)」の操作で、ヘッドライトとポジションランプの点灯を切り替える事ができ

ます。

- ③ 「OFF—ON—OFF」の操作に4秒以上かかってしまった場合には、PLモードが設定されません。再度4秒以内に操作してください。

- PLモードの状態の確認方法

メーターパネル左側にある緑色の「スモールランプ表示灯」が点灯する事で確認ができます。

ヘッドライトスイッチが OFF の時に、

PLモードがOFF (解除) …スモールランプ表示灯が消灯

PLモードがON (設定) …スモールランプ表示灯が点灯 (緑色)



- ポジションランプの消灯方法

ヘッドライトスイッチを「OFF—ON—OFF」する操作を4秒以内に行ってください。PLモードが解除され、ポジションランプが消灯します。

注: PLモード設定中にイグニッションキーを OFF (STOP)にした場合、ポジションランプの消灯に10秒～30秒かかります。(最大1分)

● フォグランプの点灯(ポジションランプ点灯時のみ)

ポジションランプ点灯の操作の途中でフォグランプスイッチを押すことにより、フォグランプを同時に点灯できます。ポジションランプと同時点灯のフォグランプはヘッドライトスイッチをONにすると消灯します。ヘッドライトの点灯中にフォグランプを点灯するには、通常どおりフォグランプスイッチを押してください。

アドバイス ⇨ ヘッドライトスイッチ「OFF—ON—ON(フォグランプスイッチ)—OFF」の操作も4秒以内に行ってください。

注: フォグランプが装備されていない車両では作動しません。また、リアフォグランプは点灯しません。

8 本体の取り外し方

- ① イグニッションスイッチ(キー)がOFF(STOP)になっている事を確認してください。
- ② ハンドルコラム横にヒューズボックスカバー(小物入れ)がありますので、カバーの下部を引き起し、取り外します。
- ③ ケーブルに無理がかからないように、車体から本体を取り外します。
- ④ ケーブルを引っ張らないようコネクタを取り外します。
- ⑤ OBD II(自己診断)ソケットのキャップを取り付けます。
- ⑥ ヒューズボックスカバーを元通り取り付けます。

9 故障かなと思ったら

Q : ポジションランプが点灯しない。

A : PLモードが設定されているか確認してください。確認方法は「7. 使い方—PLモードの状態の確認方法」をご覧ください。

Q : PLモード設定中なのに、ポジションランプが点灯しない。

A : バルブ切れの可能性もあります。本体を外し、ヘッドライトを点灯させずすべてのランプが点灯しているか確認してください。

Q : イグニッションキーを抜いてもポジションランプが消灯しない。(すぐに消えない)

A : PLモード設定中にイグニッションキーをOFF(STOP)にした場合、**消灯まで10秒~30秒かかります。(最大1分)**

Q : ポジションランプ点灯からヘッドライト点灯に切り替えるとフォグランプが消灯してしまう。

A : ポジションランプの点灯中、ヘッドライトを点灯させるとフォグランプが消えてしまうのは、本製品の仕様になります。ヘッドライトを点灯した後、フォグランプスイッチを押して、再度フォグランプを点灯してください。

10 拡張用コネクタについて

拡張用コネクタは、将来新たな機能を搭載した時に利用できるよう設けたコネクタです。追加機能については弊社ホームページのフォーラム等で公開する予定です。拡張機能はサポート対象外になります。

11 サポート

- お問い合わせは、弊社ホームページの商品お問い合わせ窓口で受け付けています。保証書、お車の車検証をお手元にご用意の上、専用フォームからお問い合わせください。
- 本製品はCANデータを使用しています。そのため、整備工場で車両のコンピュータがバージョンアップ等で書き換えられた場合には、本製品が使用できなくなることがあります。あらかじめご了承ください。本製品のバージョンアップによって対応が可能な場合には、有償にて承ります。
- 弊社ホームページのフォーラムにもお問い合わせの事例が載っている場合もありますので、一度ご覧ください。

12 仕様

対応車種	: フィアット500 2008年以降に発売された車体番号ZFA31 200000742588以前の車体
作動電圧	: 12V(10V~15V) 絶対最大電圧15V
待機時回路消費電流	: 500 μ A以下
作動時回路消費電流	: 50mA
車両通信方式	: CAN
本体外形寸法(約)	: 36mm × 47mm × 11mm
重量(ケーブルを除く)	: 13g
付属品	: 両面テープ 結束バンド ライトスイッチ表示シール 保証書兼取扱説明書
保証期間	: 購入日から半年
販売元	: 合同会社KTKオートテクノ 神奈川県大和市深見西8-6-16 www.garage-dokko.com